

薬剤科のご案内

Guidance of pharmacy



広島医療生活協同組合



広島共立病院

広島共立病院 薬剤科を紹介します



スタッフは現在 10 名
薬剤部長:津島 科長:加藤
景山 上代 西川 小田 田邊 福森 久波 助手1名
みんなでわきあいあいと、楽しく仕事をしています。

主な業務は？

内服、外用薬の調剤、鑑査
注射薬の調剤、鑑査
高カロリー輸液の混注
抗ガン剤の混注
入院患者の薬剤管理
入院患者への薬の作用、副作用の説明
病棟カンファレンスへの参加
院内スタッフからの薬に関する相談対応
持参薬の確認、管理
院内の各委員会への参加
NST などの各種チームラウンドへの参加
などです



病院の 5 階にあります

薬剤室

薬剤科への入り口





まずは薬剤科の内部を
紹介しましょう！

ドアを開け、中に入ってみると…たくさんの注射薬や内服薬・外用薬などが並んでいます。



注射薬の棚や引き出しです。どの棚や引き出しにも薬がぎっしり置いてあります。もちろん、大型冷蔵庫にも冷所保存の薬がたくさん入っています。



散剤・外用薬・水剤コーナー



内服薬の棚コーナー

薬剤科の1日に密着しました！

朝は調剤からスタート。医師が電子カルテでオーダー入力したら調剤開始です。



機械に処方内容を送信すると自動で分包してくれます。

鑑査風景

鑑査中は集中しているためとっても静かです。

不明な点は必ず確認！



ダブルチェック！！
調剤する薬剤師と鑑査する薬剤師は別々の薬剤師が確認します。



病棟業務

病棟の患者へお薬の説明に行きます。

病棟は5病棟あり、それぞれの病棟には担当薬剤師がいます。



処方内容について説明中。
用法・用量や副作用などを説明します。



入院患者への服薬指導は、患者の理解度を確認しながら説明していきます。患者の質問にもわかりやすい言葉で説明するようにしています。



腎機能や肝機能をチェックしたり、血圧や血糖値などの確認もします。

副作用が起きてないか、相互作用が起こってないか等の確認もおこないます。

病棟カンファレンスにも参加し、他職種との連携をとっています。



医師、看護師、薬剤師、理学療法士、ソーシャルワーカー、栄養士など多くの職種で連携をとりながら患者様の治療をしています。



抗がん剤や高カロリー輸液は無菌室で混注します。



勉強会風景



医療は日進月歩、新しい薬に対応するため勉強会を開催したり、外部の講習会に参加したりしています。



その他、当院では地域での健康チェック・健康まつり(こどもの薬剤師体験)など地域の人との交流へも参加したりしています。

当院薬剤師の所有資格

糖尿病療養指導士 1名

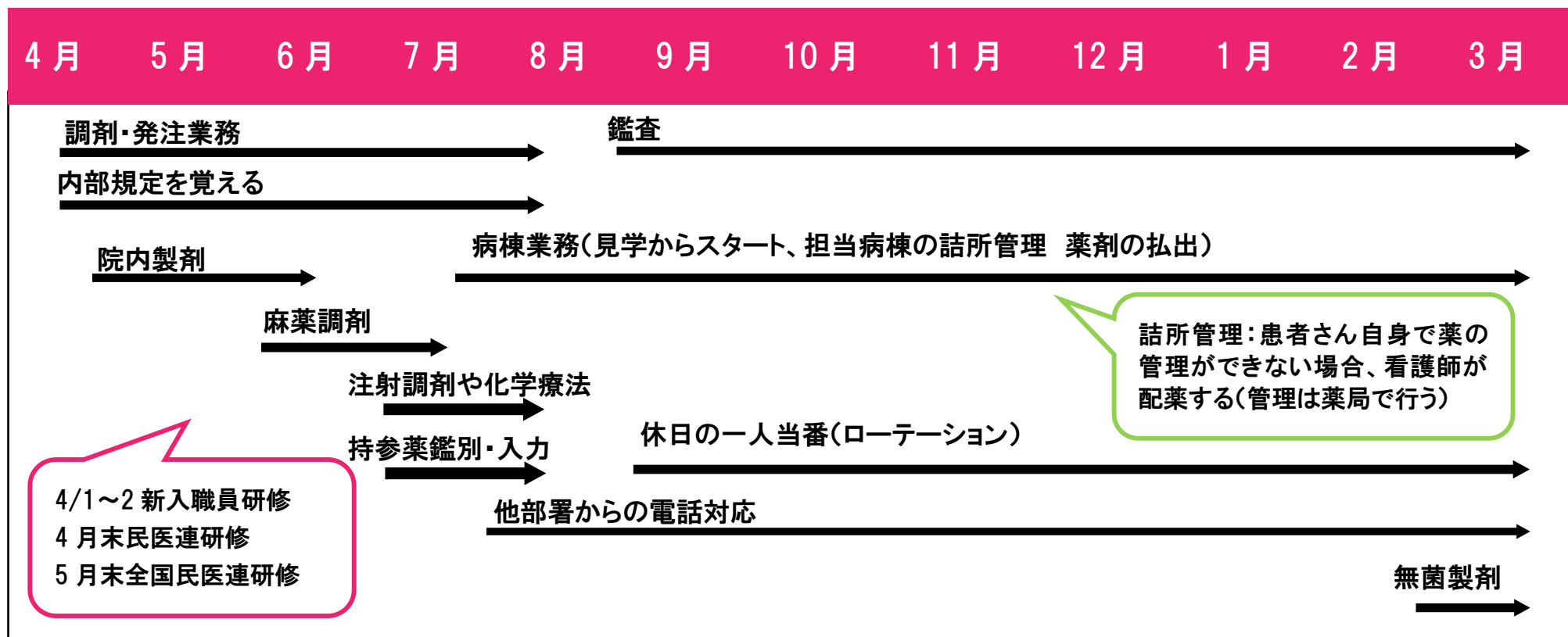
NST専門療法士 1名

小児薬物療法認定薬剤師 1名

実務実習指導



新入職員 1年間スケジュール



教育体制

- ・薬剤科で月1~2回程度の勉強会を開催。
- ・病院内外での勉強会や研修会に参加。(自由参加)
- ・1.2.3.6ヶ月と1年目終了時に教育チェックリストにて到達状況を確認。
- ・先輩指導薬剤師が常時フォロー体制。
- ・上半期で一通りの業務が行えるように到達させ、半年くらいから一人当番ができるようにする。
- ・病院内外での各種委員会への参加。

